



歯ッピー通信

2016年

6月号

Vol. 17

岡山市歯科医師会

広報委員会発行

《本会からのお知らせ》(熊代)

下記の予定にもあるように6月22日には定時代議員会があります。27年度の総決算との位置づけです。執行部に対するご意見等ございましたら、所属の班の代議員にお伝えください。また、6月1日よりクールビズといたします。本会主催の会議・講演会などにご参加の際にはご協力をお願いします。

《各部からの報告とお知らせ》

【公衆衛生部】

《一般》(大島)

障がい者(児)に対する歯科医療技術者養成事業の1期目が7月で終了し、9月より2期目のスタートを予定しています。引き続きのご協力のお願いと共に、新規協力医の募集をいたしますのでよろしくお願い申し上げます。また、6月から12月の期間で歯周疾患検診が行われますが、受診率が低迷しております。患者さんへの周知・ご協力をお願いします。

《教育》(難波)

合同歯科検診では多くの会員の皆様にご協力頂き、誠にありがとうございました。本年度より診断基準、生徒への検診結果の通知内容が変わりましたことは、すでにお伝えいたしておりますが、そろそろ健診通知の紙を持った生徒さんが受診されることと思います。今まで無かった項目、C O要検査、G O要検査の生徒さんへの対応も宜しくお伝えいたします。

《訪問》(相坂・南本)

本年度で3回目となる「入所介護施設における口腔ケア等導入支援事業」の第一回協議会が5月11日老人保健施設高松アクティブホーム(吉備地区)にて岡山市行政・施設職員・岡山市内歯科医師会連合会・岡山県衛生士会が参集し開催されました。事業概要の説明と共にお互いの意見の擦り合わせ等を行い、今後事業が円滑に進められるよう調整を行いました。事業の参画をお願いさせていただき先生におかれましてはご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【研修部】

《社会保険》(太田)

5月25日に開催されました診療報酬改定後講習会には多くの先生にご参加頂き感謝申し上げます。今回の改定の主だった施設基準の届出用紙とその記載方法は市歯HPの会員専用ページでダウンロード可能です。その際パスワードが必要ですので、ご不明な先生は事務局までお問い合わせください。

《研修企画》(岡崎)

これからの歯科治療には、摂食・嚥下の知識が求められます。そこで公衆衛生部との共同企画として、8月に岡山旭東病院の言語聴覚士による勉強会を予定しております。それに先立ち7月23日(土)開催の臨床放談会「基礎から学ぶ摂食・嚥下」の最後に勉強会のご案内と講師の紹介をさせていただきます。

【総務部】

《医療管理》(浜崎)

熊本を中心とした今回の地震では多くの診療所が被災されました。断水や停電だけでなく、機材の故障や材料・薬品の流通問題も起きたようです。今回のことを機に院内の整理整頓や危険物の管理、防災準備等を見直してみてください。

《厚生》(横山)

5月15日(日)125名の会員・家族・従業員に参加頂き、恒例のフジアーノ岡山団体観戦を行いました。当日はお天気にも恵まれ絶好のサッカー観戦日和でしたが、試合は終始押せ押せの展開だったにもかかわらず、残念な結果で、団体観戦通算成績は、1勝2敗1引き分けとなりました。参加頂いた皆様、何より約1万人の観客の中オレンジハッピーで係に徹して下さいました委員の先生方本当にありがとうございました。

《広報》(横山)

OHK(岡山放送)から「歯ッピーちゃん人形をスタジオセットとして使わせてほしい」とのご依頼をいただき、先日歯ッピーちゃん単独で番組出演しました。事の経緯は、以前OHKを交えた会議で先方にお渡しした歯ッピーちゃん人形を別のアナウンサーの方が気に入ってくださり、というお話だったようです。スポーツニュースのセットの一部で、OHKのキャラクターOH!くんとバレーボールのキャラクター、パボちゃんとの3体夢の? コラボでの出演でした。歯ッピーちゃんキャラクターが、市民のお口の健康を守る岡山市歯科医師会=歯ッピーちゃんがいる医院(会員)と認知の一役になればと考えています。

【技工学院】(居樹)

5月20日(金)・21日(土)ホテルグランヴィア岡山において「平成28年度全国歯科技工士教育協議会総会、理事長・校長会議、教務主任会議」が開催されました。担当校は開校以来初めて本学院が務めさせていただきました。約1年前より委員会を立ち上げ、綿密に準備をした結果、理事長・校長、教務主任会議に111名、懇親会に138名、総会に119名の過去最高の出席をいただきました。また、出席の先生方には高い評価をいただき、特に本学院と歯科医師会の密接な関係には驚かれたようです。

《行事予定》

6月 5日(日)	第207回学術臨床放談会(10:00)	県歯会館5階
6月 22日(水)	第9回定時代議員会(20:00)	県歯会館5階
7月 23日(土)	第208回学術臨床放談会(19:00)	県歯会館5階
10月 2日(日)	歯ッピーフェア2016(10:00)	岡山天満屋
12月 7日(水)	忘年会(19:30)	アークホテル

《終わりに》(大村)

会員の皆さんで、岡山市長メルマガに登録している先生はおいでですか?行政と市民感覚とのズレを実感する市長さんの反省を紹介します。本年4月1日現在の岡山市で、保育園・認定こども園等に希望しても入園できない未入園児童は1,343人、待機児童は729人と、いずれも過去最となったそうです。が、市長が就任してから半年後の平成26年4月時点では、未入園児童が772人、待機児童は0人という状況となり、これで問題は早期に解消されるものと考えていたそうです。実は未入園児童1,343人の内訳を調べると、ある事実が明らかとなった。それは、これまで自宅から30分未満の距離に利用可能な園がある場合は、待機児童には当たらないという解釈をしてきたということです。岡山市の場合、中心部に住んでいる人が車で30分走ると周辺部まで十分行けるため、この解釈によれば、どんな場合でも待機児童には当たらないわけです。頭のいい担当者が数字をよく見せるためにそのような条件付けをしたのか、全国的に一般的に使われていたものなのか知りませんが、数字のマジックと言ってもいいでしょう。今後は実態に即した対応をするそうです。期待します。